

諸室の概要(案)

※WGIにおける議論に基づき現時点で想定される施設の諸室に備えるべき機能、要件等の案をまとめたものであり、今後の検討により変更が生じる可能性がある。

機能／室名		用途	構造・設備、環境	備考
展示				
常設展示室		日本国憲法など象徴的な資料の展示(シンボル展示)を想定した展示スペース。	(構造) ・柱のない空間。可動壁に対する集中荷重への配慮(企画展示室のみ)。 ・耐荷重設定 0.5t/m ² 以上 ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・ユニバーサルデザイン対応。	
		我が国の成り立ちや国家としての意思決定の過程をたどる資料の原本を常時展示するスペース(借用資料の展示も想定)。国立公文書館の役割を紹介するスペースも兼ねる。	(主な設備) ・展示ケース、展示に用いる大型機器 ・ライティング、監視カメラ	
企画展示室		個別のテーマで構成された資料を年数回、一定期間にわたって展示するスペース(借用資料の展示も想定)。可動壁を計画しフレキシブルに使えるようにする。	(環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明。 ・資料に合わせた最適な温湿度設定で管理。 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 ・文化庁の「公開承認施設」の基準を満たすこと。	
展示準備室		展示のための各種準備を行う。展示備品の保管、展示ケースの収納スペースも兼ねる。	展示室と同等	
借用資料保管庫		外部からの借用資料を保管する。借用資料保管庫と同一の機能を有した前室を設ける。	貴重書庫と同等 (ただし、文化庁の「公開承認施設」の基準を満たすこと。)	
学習				
学習・研修施設	ホール	講演会等を開催するホール(同時通訳対応可)及び講師控え室(2室)。300名程度を収容可能。座席部分が収容できる機能を持たせ、スクール形式での利用も可能とする。	(構造) ・柱のない空間。 ・耐荷重設定 3.0~4.0t/m ² ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・ユニバーサルデザイン対応。 (主な設備) ・ステージ、ロールバックチェアスタンド(移動観覧席)、同時通訳設備。 ・映像音響機器、照明機器。 ・防音構造(マイクを用いた講義等の同時開催による隣室等への音漏れ防止) (環境) ・調光可能な照明。 ・個別空調。	

機能／室名		用途	構造・設備、環境	備考
	研修室	中小規模の研修会を開催する研修室。最大200名程度を収容可能。可動壁を計画しフレキシブルに使えるようする(30名×6室)。団体利用者の休憩スペースとしても利用する。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱のない空間。可動壁に対する集中荷重への配慮。 ・耐荷重設定 0.6t/m²以上 ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・防音構造(マイクを用いた講義等の同時開催による隣室等への音漏れ防止) ・ユニバーサルデザイン対応。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可動壁、映像音響機器、照明機器。机・椅子。 <p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調光可能な照明。 ・個別空調。 	
	見学ガイダンス室	施設内の見学のガイダンスを行うスペース。見学中の荷物置き場にも使用。	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光・間接光も含めて資料に影響を与えないようにする。 ・映像音響機器等に必要な設備。 	
	修復体験室(兼セミナー室)	見学に伴う修復体験の実施スペース。また、修復を学ぶためのセミナー室。	洗浄処理室と同等。	
保存				
受入業務施設	搬入口	受入文書の搬入。 ※毎年春に3万冊、秋に2万冊、その他法人文書等(随時)の受入れ対応を想定。また、同搬入口にて資料貸出・借用資料(大型資料含む)、デジタル化作業時のスキャナ機器等機材の搬出入も実施を想定。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型車両による搬入を想定。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排気用の個別換気設備。施設内に排気ガスが入らない。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 ・食品やゴミ類の搬入口は別途。 	
	荷解室、整理室、一時保管室	荷解き(荷解室)、受入文書と送付目録との突合せ(整理室)。燻蒸待ち資料の一時保管(一時保管室)。 ※荷解室は整理室との併用不可。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業机・椅子。文書箱を仮置きするカゴ台車等。 <p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 	
	害虫処理室、前室、隔離室	受入後の害虫処理。	荷解場と同等 (ただし、主な設備として、排気用の個別換気設備。気密扉を設置) 小型資料の害虫処理作業も実施できるような場。	
	排架作業室	害虫処理後、排架するまでの間、資料を一時保管するスペース。 受入目録の作成作業等。 受入資料の排架に向けた作業(ラベル貼り等)を行うスペース。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業机・椅子、作業端末。文書箱を仮置きするカゴ台車等。 <p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 	

機能／室名		用途	構造・設備、環境	備考
保存業務施設 (保存管理関連)	保存整理室(リハウジング含む)	既存資料に対する保存作業(リハウジング、埃落とし、金属除去、保存箱作成等)を行うスペース。	(構造) ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 (主な設備) ・作業机・椅子、作業端末。文書箱を仮置きするカゴ台車等。 ・保存箱作成システム、スキャナ等デジタル化システム、複合機	
	代替物作成室	簡易なスキャニングや製本等により利用用代替物の作成を行うスペース。 原本の袋掛け作業を行うスペース。	(環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・資料に合わせた最適な温湿度設定(22℃、55%を目標とする)で管理。 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
	保存材料・機材等倉庫	保存材料保管スペース。	(構造) ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 (主な設備) ・固定書架、集密書架。物品排架棚、マップケース ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
	目録作成室	利便性向上のための詳細な目録の作成(件名/細目、資料概要情報等)	(構造) ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 (主な設備) ・作業机・椅子、作業端末。文書箱を仮置きするカゴ台車等 (環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
保存修復研究施設(兼作業室)	多様な媒体等の保存・修復技術を研究するスペース。	洗浄処理室と同等。		
資料保管庫	職員が実施する修復作業、リハウジング作業、利用用代替物作成作業の資料の一時保管スペース。	一般書庫と同等 (ただし、書架の選定については業務に配慮する。)		
	一般書庫	適切に区分けされた特定歴史公文書を保存する専用保存庫。	(構造) ・耐荷重設定 1.2t~3.5t/m ² (書架形式に応じて適切な耐荷重を設定) ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・国際基準や最新の技術動向を踏まえた適切な施設。(例:ISO 11799等) ・災害耐久能力の確保。(二重壁構造、耐震、免震、適切な火災対応、水害対応装置等) ・配管等の故障視認、メンテナンス性確保のための考慮。 (主な設備) ・書架設備。入退室管理。 (環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明(作業時以外は消灯)。 ・資料に合わせた最適な温湿度設定(22℃、55%を目標とする)で管理。 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 ・有毒ガスの発生を抑制する安全な内装材の使用。	

機能／室名		用途	構造・設備、環境	備考
書庫	貴重書庫	重要文化財等を保存する専用保存庫及び前室。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐荷重設定 1.2t/㎡～3.5/㎡(一般書庫の耐荷重も踏まえつつ適切な耐荷重を設定) 窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 国際基準や最新の技術動向を踏まえた適切な施設。(例:ISO 11799等) 災害耐久能力の確保。(二重壁構造、耐震、免震、適切な火災対応、水害対応装置等) 配管等の故障視認、メンテナンス性確保のための考慮。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 固定書架。入退室管理。 <p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料への負荷が少なく調光可能な照明(作業時以外は消灯)。 資料に合わせた最適な温湿度設定(20℃、50%を目標とする)で管理。 室内空調(空気清浄機能を含む)。 IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 有毒ガスの発生を抑制する安全な内装材の使用。 	
	フィルム保存庫	フィルム等のアナログ媒体資料を保存する専用保存庫。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐荷重設定 0.6t/㎡以上 窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 国際基準や最新の技術動向を踏まえた適切な施設。(例:ISO 11799等) 災害耐久能力の確保。(二重壁構造、耐震、免震、適切な火災対応、水害対応装置等) 配管等の故障視認、メンテナンス性確保のための考慮。 	
	低温保存庫	フィルム等のアナログ媒体資料のうち、特に低温保存が必要なもの(カラーフィルム写真等)を保存する専用保存庫。	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> フィルム用扉付収納。入退室管理。 フィルムラック、メディアラック、書架。 	
	光学メディア等保管庫	DVD等のデジタルデータの可搬媒体を保存する専用保存庫。	<p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料への負荷が少なく調光可能な照明(作業時以外は消灯)。 資料や使用目的に合わせて変更可能な最適な温湿度設定で管理。 フィルム:15～21℃、40% 低温用媒体(カラーフィルム写真等):2℃、30% 光学メディア(DVD等デジタルデータ):20℃、40% 	
複製物保管庫	フィルム保存庫	複製物として作成されたマイクロフィルムを保存する専用保存庫。	<ul style="list-style-type: none"> 室内空調(空気清浄機能を含む)。 IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 有毒ガスの発生を抑制する安全な内装材の使用。 	
	光学メディア等保管庫	複製物として作成されたデジタル画像データの可搬媒体を保存する専用保存庫。	<p>※(参考)JIS K7641における許容温湿度条件の一例。</p> <p>黒白／セルロースエステル:温度7℃、湿度20～30% 黒白／ポリエステル:温度21℃、湿度20～50% カラー／上記両方:温度2℃、湿度20～30%</p>	
中間書庫		行政機関から預かった文書を保存する中間書庫と行政機関担当者がその文書を閲覧するスペース。	<p>(構造)</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐荷重設定 1.2t～3.5t/㎡(書架形式に応じて適切な耐荷重を設定) 窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 国際基準や最新の技術動向を踏まえた適切な施設。(例:ISO 11799等) 災害耐久能力の確保。(二重壁構造、耐震、免震、適切な火災対応、水害対応装置等) 配管等の故障視認、メンテナンス性確保のための考慮。 <p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 書架設備。入退室管理。閲覧机、検索PC、作業机。 <p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料への負荷が少なく調光可能な照明(作業時以外は消灯)。 資料に合わせた最適な温湿度設定(22℃、55%を目標とする)で管理。 室内空調(空気清浄機能を含む)。 IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 有毒ガスの発生を抑制する安全な内装材の使用。 	

機能／室名	用途	構造・設備、環境	備考
修復			
第1修復作業室	各作業者の修復作業スペース。	(構造) ・柱のない空間。 ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。	
	修復作業に使用する大型機材の設置スペース。	(主な設備) ・作業台・椅子、給排水設備、排気用の個別換気設備。 ・裁断機、スプレーユニット。	
	各自の作業台で修復作業ができない大型の資料の修復を行うスペース。	(環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。作業台に直接風が当たらない配慮。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
第2修復作業室(リーフキャスト、洗浄・少量脱酸作業専用)	リーフキャスト専用の作業スペース。	(構造) ・柱のない空間。 ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・防水加工の床。	
	大量の水を使用する作業スペース。	(主な設備) ・作業台・椅子、給排水設備。 ・リーフキャストマシン、電動プレス。乾燥棚。 (環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。作業台に直接風が当たらない配慮。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
修復材料倉庫	和紙等を広げた状態で保管するスペース。その他、道具、材料類を保管するスペース(棚)。	保存材料・機材等倉庫と同等	
デジタルアーカイブ			
作業準備室	デジタル化に向けた、資料のコマ数・破損状況等の事前確認に使用。	(構造) ・柱のない空間。 ・耐荷重設定 1.2t/m ² 以上 ・窓(開口部)を設けず、直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。	(可用性)デジタルアーカイブ以外の機能への転用も可能(逆も可能とする)
複製物作成室	デジタル画像作成に係る各工程実施。	(主な設備) ・スキャナ機器、複製物検査用PC、作業机・椅子 ・大容量電源、強力な空調設備 (環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明。 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施	
撮影スタジオ	貴重資料、大型資料等のデジタル化対応(大型資料撮影のための檜設営、撮影機材使用等)。		
資料保管庫	主に複製物作成業務及び資料確認業務で使用。	一般書庫と同等 (ただし、書架の選定については業務に配慮する。)	(可用性)デジタルアーカイブ以外の機能への転用も可能(逆も可能とする)
外部委託業者用休憩室等(デジタル化作業者用)	外部委託業者の作業員ロッカールーム、休憩室、洗面所、給湯室向けスペース。	(主な設備) ・ロッカー。給排水設備。	

機能／室名		用途	構造・設備、環境	備考
調査研究支援				
閲覧室	受付カウンター、レファレンスカウンター、資料探索スペース、閲覧スペース、複写スペース	利用者の総合窓口。目録検索スペース。原本、代替物の閲覧。利用者が資料撮影を行うスペース。	(構造) ・柱のない空間。 ・耐荷重設定 0.6t/m ² 以上 ・直射日光・間接光も含めて外部環境の影響を受けない空間。 ・ユニバーサルデザイン対応。 (主な設備) ・カウンター、閲覧机・椅子、検索端末、複写台。	(可用性)研修室による拡張可能
	多目的室	大型資料の閲覧、利用方法ガイダンス等。	(環境) ・資料への負荷が少なく調光可能な照明 ・室内空調(空気清浄機能を含む)。 ・IPM(Integrated Pest Management)の考え方を導入した害虫防除方策の実施 ・快適性に配慮する。	(可用性)研修室による拡張可能
	写し作成室	写しの交付業務(外部委託)を行う業者の作業スペース。	複製物作成室と同等	
	資料保管庫	写しの交付や利用審査中資料の保管書庫。	一般書庫と同等 (ただし、書架の選定については業務に配慮する。)	
参考資料室	受付カウンター、書架、閲覧スペース、複写スペース	閉架資料の出納受付、文献案内。参考資料の排架。参考資料の閲覧(デジタル、フィルム等)。通常の複写機でコピー可能な資料について複写。	閲覧室と同等 (ただし、参考資料を配架するための固定書架を整備する。)	
	参考資料保管庫	閲覧室に併設する参考資料等を排架	一般書庫と同等	
調査研究支援施設	調査研究支援室	レファレンス対応に加え、利用者の調査研究活動を支援。資料探索支援。	閲覧室と同等	(可用性)閲覧室、研修室による拡張可能
	相談室	利用者の調査研究活動のため、利用者とともに資料探索を行う等の調査研究活動をサポート。		
	共同研究室・セミナールーム	資料ガイダンスや利用者同士の情報意見交換等を実施。団体・学会等の調査研究活動にも提供。		
アーキビスト等職員用の調査研究室		アーキビストなど職員が展示企画、調査研究、利用審査のために資料の調査研究を行うスペース。		
交流				
エントランス等		施設のメインエントランス。外部からの影響低減のため風除室を設ける。受付を設け、展示室、閲覧室、共通利用施設等一般利用者エリアに直接アクセス可能な空間構成とする。	(構造) ・天井高で5.0m～を確保。 ・ユニバーサルデザイン対応。 ・救急搬送ルート確保。	
共通利用施設		レストラン・カフェ。ショップ(グッズ販売、物品庫)。館PRスペース。交流広場。	(構造) ・ユニバーサルデザイン対応。	
来館者用スペース		展示観覧者・閲覧室利用者用ロッカー、洗面所、授乳室、救護室、待合い・休憩室。	(主な設備) ・給排水設備。	
外部委託業者用休憩室等 (受付、展示案内等の運営作業用)		外部委託業者の更衣室、休憩室、洗面所、給湯室向けスペース。	(主な設備) ・ロッカー。給排水設備。	
その他(事務室、機械室、廊下、エレベーター等)				